

会派視察報告書

大崎市議会 政務活動概要報告書
平成 年 月 日 提出

1. 視察概要

会派名	改新クラブ
視察者名	氷室勝好、八木吉夫、中鉢和三郎、佐藤講英、山口壽、山口文博、鹿野良太
視察日	平成31年1月15日(火)
視察先	市町村アカデミー 市町村議会議員特別セミナー③～次の時代へ～
出席者	全国市町村議員

2. 視察内容

視察項目	ITで変わる地域社会の展望 市町村アカデミー副学長 牧 慎太郎
視察内容	<p>◎これまでの30年余 80年代ワープロ、パソコンの普及浄書する職員が不要、表計算ソフトで業務も効率化。 90年代インターネットの普及、距離的ハンディキャップ解消への期待。 00年代ブロードバンド、携帯電話の普及インターネットの定額利用、高速化、大容量化 各自治体もホームページで情報提供、SNSなど住民とのコミュニケーション利便性向上 10年代スマホ、クラウドの普及 Web 閲覧、メール、ナビゲーションなどの高機能化手軽な 端末からデータ、ソフトウェアのサービスの利用</p> <p>◎ICTを活用した住民参画 電子会議室住民自治の充実～住民の意思を行政に反映自治体が電子会議室を設置その 後、(誹謗中傷・荒らし)閉鎖の動き 地域 SNS 友達つながりの安心感と利便性、希薄化するコミュニティの再生最近ではご近 所掲示板的な地域 SNS が台頭新しい市民参画型の取り組みも</p> <p>◎ソーシャルメディア SNS の普及 ～20代は98%が利用 マスコミを通じなくても誰もが情報を発信できる時代に共感が人を動かす 災害時に役立つ SNS 使い慣れた ICT ツールを災害時に活用地域 SNS で安否確認、位 置情報を投稿、必要な情報を収集、発信</p> <p>◎AIとIOT AI(人工知能)ビックデータ活用とディープラーニング(深層学習)特化型 AI は人間を超える レベルへ将来 AI が人間の知性を超える？ IOT～インターネットでモノとモノがつながるインダストリー4.0自動センサーの高度化自 動的に最適な環境を提供するサービスへ GPS の精度向上による高速道路でのトラック 隊列走行、危険地帯での遠隔操作による作業可能など</p> <p>◎AIで変わる仕事のあり方 人の担う仕事に大きな変化 労働人口の約半分が代替え可能に 課題解決に向けた枠 組みや目標の設定は人間の仕事、AI時代に対応した人材育成、リカレント教育の必要性</p> <p>◎テレワーク 高速通信網とモバイル&クラウドの進化 時間 場所にとらわれない働き方へ テレワークデー 7月24日 東京オリンピックに向けて交通混雑の緩和、働き方改革 ふるさとテレワーク 地方創世の観点から、地方人サテライトオフィス クラウドソーシング</p> <p>◎eコマース拡大 ネット通販、ネットオークションの拡大 ネットを活用した産地直送 消費者直結 キャッシュレス社会の到来 ～省力化、売上のデータ化 導入コストが安く小規模店舗で も広がる可能性 地産地消を推進</p>

◎クラウドファンディング

不特定多数の人からインターネット経由で資金調達 金融機関を通さない資金調達

◎インバウンド観光の利便性向上

IT 活用による利便性向上無料 WI-FI の整備、ホームページの多言語化 電子マネー スマホ QR コード決済、ICT を活用した災害時の外国人被災者対応など取り込む

◎シェアリングエコノミーの拡大

個人が保有する活用可能な資産等をインターネット上のマッチングプラットフォームを介して他の個人等も利用可能とする。

◎エネルギー分野での IT 活用

マイクログリッド 大規模発電所からの送電に依存しない分散型電源による地域内電力供給ネットワーク IT 関連技術で需給制御

◎スマート自治体への転換

自治体戦略2040構想 人工知能など先端技術を駆使して事務の自動処理を勧め、そのためのシステムも自治体間で標準化、共通化して無駄な重複投資を避けることをめざす従来の半分の職員でも自治体が本来担うべき機能を発揮、高い専門性や企画調整能力、コミュニケーション能力が求められる。

◎Society5. 0へ

サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会

◎魅力ある地域づくり

前例踏襲や他地域のマネだけでは、人口減少時代はジリ貧

先入観は可能性を食いつぶす、チェックしすぎはスピードが落ちる。補助金頼みは持続性がない。できるだけ地域内でお金が回る仕組みを考える。ないものねだりより、あるものを探す。できない理由よりどうしたらできるかを考える。大きさや量では勝負しない。先進性と質で勝負する。新しいクリエイティブな流れを起こす。

どのような人財(≠人任)がいるか集まってくるかが最大の地域魅力

自分自身が意味のある存在だと思えるか、地域をよりよくなるための活動に感謝しよう、仕事をリタイアしても教養と教育は重要、まちに関わる人を増やそう。

他会派との
合同実施

なし